

カワシオグサ繁茂状況調査（2月）

2024年2月22日
水産試験場

調査日 | 2024年2月15日

調査場所 | 那珂川（黒磯～烏山）

調査内容及び方法

○カワシオグサ（青ノロ）被度、水温、水深、透明度、巨石率を測定¹⁾しました。

1)測定方法の詳細はこちら

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/documents/231113ayuseisoku.pdf>

注意) 透明度については、暫定値です。

器具を使って間接的に測定しているため、水中で直接目視していた10月までのデータと比べると過小推定となっています。今後、補正を実施します。

調査結果

○10地点で調査を実施しました。



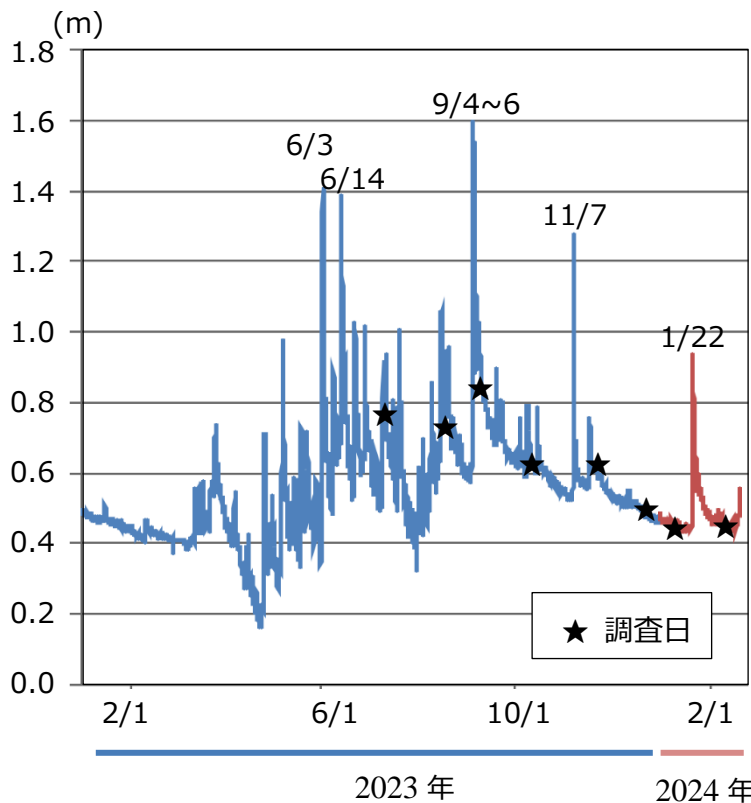
地点	地区	場所
1	黒磯	那珂川河畔公園
2	鍋掛	数ヶ室
3	寒井	矢組堰下流
4	黒羽	高岩
5	湯殿	水遊園大橋上流
6	小川	青岩
7	八溝	八溝大橋下流
8		ニコン裏
9	烏山	烏山大橋下流
10		下野大橋下流

図1 調査場所

表1 調査結果の一覧

2024.2.15

No.	地区	場所	調査時刻	水温 (°C)	調査距離 (m)	カワシオグサ被度 (%)	平均水深 (cm)	透明度 (m)	巨石率 (%)	備考
1	黒磯	那珂川河畔公園	9:30	7.5	95	30	30	3.9	23	
2	鍋掛	数ヶ室	9:58	7.7	55	17	25	2.6	37	
3	寒井	矢組堰下流	10:21	8.0	73	93	37	1.7	43	
4	黒羽	高岩	10:49	8.2	65	49	40	3.3	27	
5	湯殿	水遊園大橋上流	11:17	9.5	111	45	55	4.3	27	
6	小川	青岩	12:13	10.7	85.5	48	53	3.0	43	
7	八溝	八溝大橋下流	12:47	10.8	56	40	75	2.7	23	
8		ニコン裏	13:11	10.3	89	55	87	2.3	7	
9	烏山	烏山大橋下流	13:45	10.4	107	37	82	3.9	33	緩流帯のコカナダモが減少
10		下野大橋下流	14:05	10.5	72	63	90	2.0	13	



・前回調査 (1/16) から今回の調査までに40cmほどの出水があった。

図2 那珂川小口観測所の水位 (2023/1/1~2024/2/20)

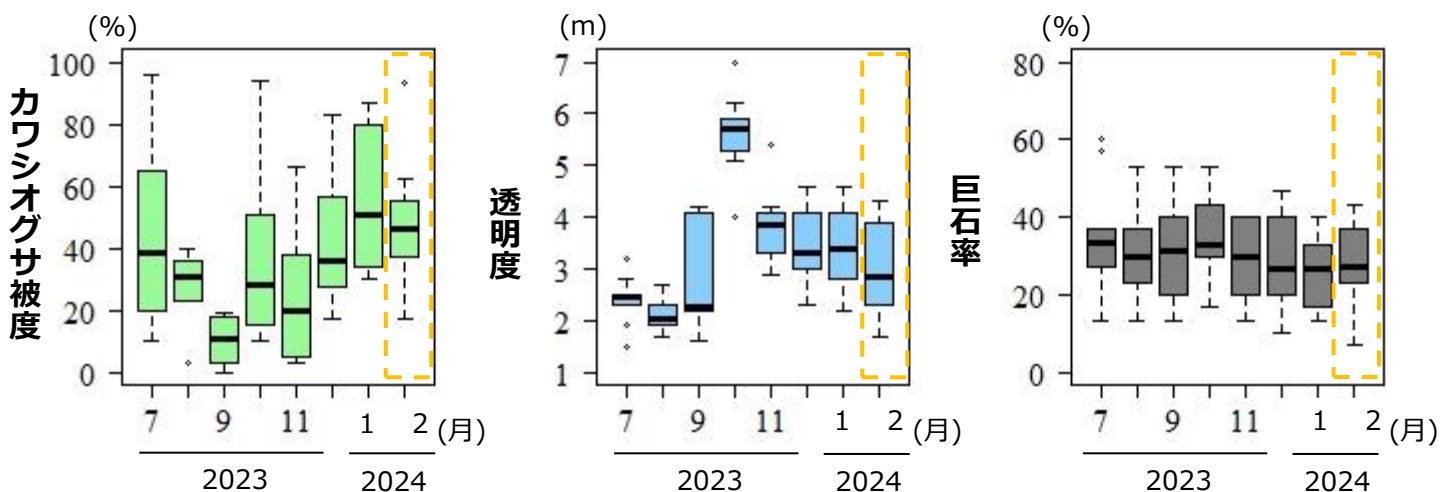


図3 カワシオグサ被度、透明度、巨石率の季節変化

2月の調査：2月のカワシオグサ被度（平均48%）は1月（平均55%）より減少した。透明度は、やや低下傾向。

カワシオグサ被度

○が大きい場所ほど
カワシオグサが多い

透明度

○が大きいほど
透明度が高い

巨石率

○が大きいほど
巨石が多い

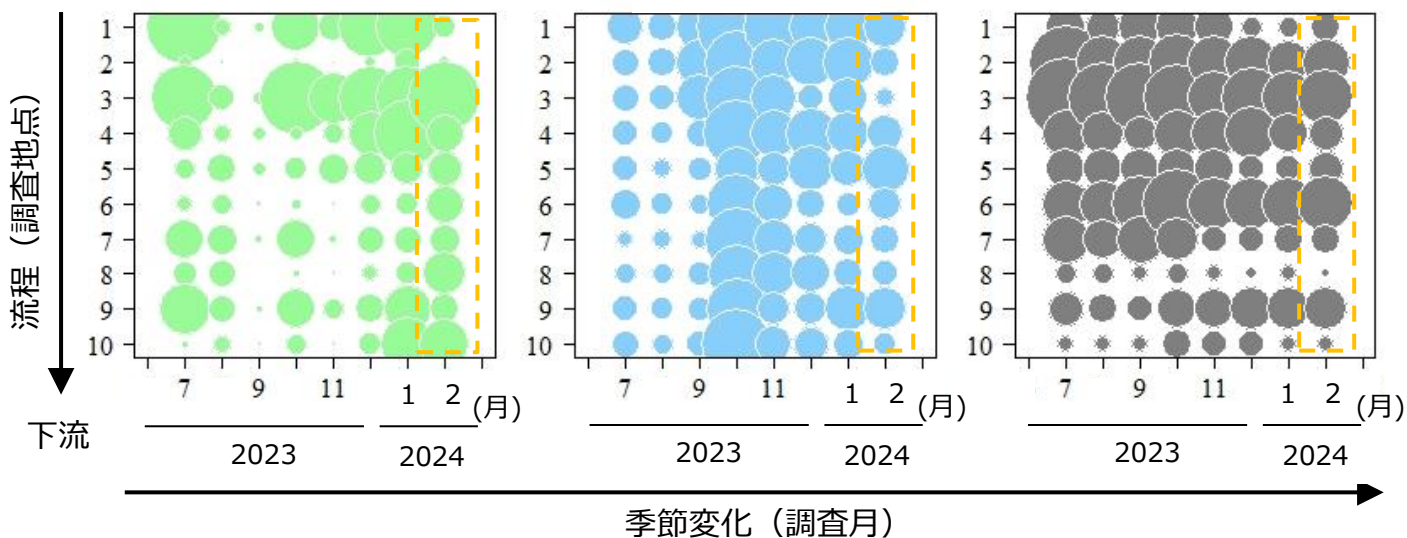
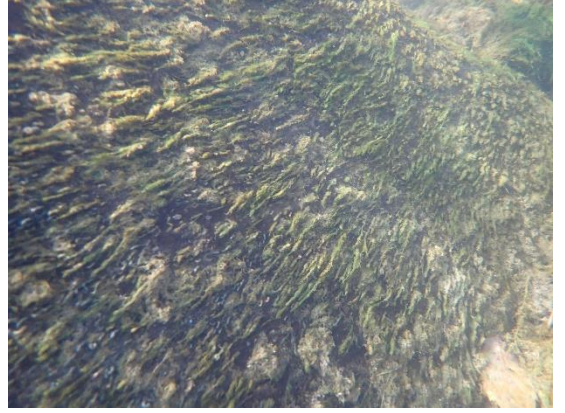


図4 地点ごとのカワシオグサ被度、透明度、巨石率の季節変化

2月の調査：○が大きいほど値が大きいことを示す。
カワシオグサ被度は、地点1、4、9で大きく減少したが、地点3、6、8では増加した。透明度は、地点3での低下が大きい。

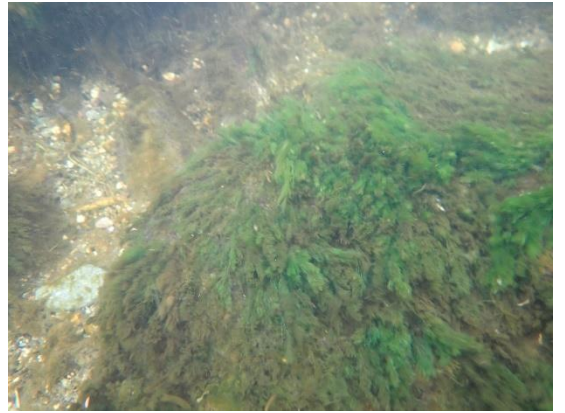
地点1
那珂川河畔
公園



地点2
数ヶ室



地点3
矢組堰下流



地点4
高岩



地点5
水遊園大橋
上流



地点6
青岩



地点7
八溝大橋
下流



地点8
ニコン裏



地点9
烏山大橋下
流

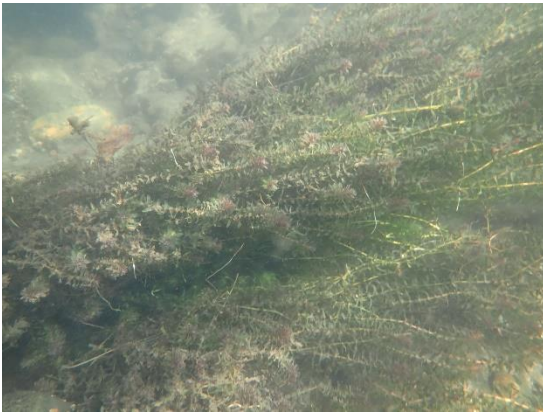


地点10
下野大橋下
流



コカナダモの繁茂状況

地点6
付近
水中の
ようす



地点9
付近
水中の
ようす



- 12月以降、コカナダモが減少傾向。
- 上流域ほど、流れが緩い場所ほど減少ペースが速い傾向。
- 2月の調査では、中下流部でも緩流帯のコカナダモがほとんど枯死した状態となった。
一方で、流速が速い場所については、減少傾向にはあるものの枯死するようすは見られない。